

幼少期から 20 年間のステロイド使用後に強い全身症状を経験した青年期アトピーの経過 (26 歳 成人)

症例 ID：001-20-SA | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

幼少期から約 20 年間ステロイドを使用しました。大学 4 年時にステロイドを中止し、全身の外見が大きく変わるほどの症状を経験しました。記録時点はステロイド中止から 3 年で、外用量が少なかった部位では症状がみられなくなり、その他の部位も治療を継続していました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期からステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	約 20 年間です。
中止時期	大学 4 年時、記録の約 3 年前です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～大学期	長期外用	約 20 年間ステロイド外用を続けました。
大学 4 年時	中止・強い悪化	全身の外見が大きく変わり、強いかゆみ、痛み、倦怠感が続きました。
同時期	生活への影響	一人暮らしの中で人と会うことが難しく、社会的に孤立する時期がありました。
中止後 3 年間	治療継続	ステロイド使用量が少なかった部位から症状がみられなくなりました。
記録時点	経過中	見た目では症状が残る部位があるものの、回復を実感しながら就労していました。

4. ピーク時期

ピークは、大学 4 年時のステロイド中止後に、全身の外見が大きく変わり、強いかゆみ、痛み、倦怠感、人と会えない状態が重なった時期です。

5. 困りごと

- 一人暮らしの中で強い症状に対応する必要がありました。
- 友人や知人と会うことが難しくなり、社会的な孤立を感じました。
- 強い倦怠感により会話する体力も乏しい時期がありました。

6. 経過のまとめ

ステロイド中止から 3 年後、使用量が少なかった部位では症状がみられなくなりました。見た目では症状が残る部位がありましたが、回復を実感しながら医療機関で就労していました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。